

アイリス Letter

保護者の皆様へ

2024年10月31日発行
第3号
広島女学院中学高等学校

聖書のことば

わたしから学んだこと、受けたこと、わたしについて聞いたこと、見たことを実行なさい。そうすれば、平和の神はあなたがたと共におられます。

フィリピの信徒への手紙 4章9節

2学期も半分が過ぎました。8月29日(木)の始業の日の翌日は、台風の為の臨時休校となる慌ただしいスタートでした。しばらくいつまでも続く暑さに閉口していましたが、今ではすっかり秋らしい日々となり、学校の生垣の金木犀が、あちらこちらと香っています。

9、10月は、学年行事があり、生徒はとても忙しい生活であったと思います。私は、9月12・13日に行われた中2チャレンジキャンプに行きました。12日は、大雨が降りました。そのコンディションの中で、高校生リーダーと一緒に中2の生徒が自分の役割をしっかりと果たし、どのグループもおいしいカレーライスを食べることができたと思います。山登りでは、何かのアクシデントがあっても、声を掛け合いどうにかクリアしていく姿を見て、生徒たちのつながり合う力はすごいなと感じました。10月4日には、中1の遠足で、安佐動物公園に行きました。秋晴れの暑い日でしたが、中1の生徒のみなさんの元気いっぱい野原を走る姿をうらやましく思いました。一人ひとりの生徒には、言葉にできないほどの経験と出会いがあったと思います。保護者の皆さまには、その学校の活動を支えていただき、本当にありがとうございます。

今、学校には、文化祭の準備の音が響いています。今年は、11月2・3日の2日間開催となります。2日間で5000人を超える来校者がある予定です。保護者の皆さまにたくさんのご協力をお願いします。教職員、生徒が一つになり、豊かな実りある時となりますよう取り組みます。

広島女学院の学びの一日一日が、平和をつくることにつながるために、聖書からいただく一人ひとりへのメッセージを軸として歩いていく、そのような一日になることをお祈りします。

(校長)



創立 138 周年創立記念礼拝

9月28日(土)、三原霜子さん(95歳、高女54回卒業生)をお迎えして、創立記念礼拝が持たれました。三原さんは現在広島市西区にご在住ですが、当時のお住まいは呉市で、学徒動員先の比治山の寺院で被爆されました。今現在、ご高齢であるにもかかわらず、被爆証言活動にも携わっておられます。



中・高とも礼拝では、1945年8月6日の女学院での朝の礼拝で歌われた讃美歌320番を歌い、学院聖句(コリントの信徒への手紙一3章9節)を用いてお話をされました。

三原さんは、1941年に女学院に入学されたので、その頃の女学院の様子についての貴重なお話を語っていただきました。特にロシア出身の音楽教師であったパルチコフ先生からヴァイオリンのレッスンを受けたことや生徒自ら立ち上げた合唱部の様子、そして、寄宿舎での讃美歌練習や早天祈祷会など、今まではテキストを通じてしか会うことができなかつたお話を、記憶を辿りながら語っていただきました。特に、原爆が投下された8月6日以前の敗戦色が強まっていく中での、憲兵隊による迫害や、「耶蘇の学校」「スパイの学校」といった偏見、そして強制的な動員による厳しい生活が強られる状況の最中でも、みんなと一緒に



だったからお祈り・笑いが途切れず……振り返ってみると「感謝」が溢れる幸いの時であったと、当時のご記憶を分かち合ってくださいました。さらに、原爆の後の事については、バラックではあったが広島では最も早く校舎ができ、悲しみの最中でも希望を失わず、礼拝と共に従来の女学院の姿を取り戻すためにみんなが一丸になっていて、その時でさえ感謝をもって生活していたと語られました。

後輩たちとの出会いを楽しみにされながら、女学院の卒業生としての誇りと感謝、そして女学院生としてのプライドを忘れず、何事にも熱心な女学院生になってほしいとの希望を後輩たちに向けて強く語られました。女学院の歴史・歩みについて出会うその豊かさを分かち合うような、貴重な仕合せ(しあわせ)の時でした。

講演の後では、三原さんのお話を聞いた生徒が三原さんを訪ねて色々とお話を伺う中で、戦後連絡が途切れた三原さんの親戚のお孫さんであることが解り、涙の再会の貴重な仕合せもありました。

(宗教教育委員会)

中2チャレンジキャンプ

中2は9月12日(木)~13日(金)の2日間、芸北の豊かな自然の中でチャレンジキャンプを行いました。今年度は当初予定していたテント泊ができず、1泊2日のプログラムに変更になりましたが、1日目は森林の中の歩行と飯盒炊爨、2日目は恐羅漢ゲレンデ登山を無事におこなうことができました。

4月からキャンプ当日までの期間で、中2の生徒は山登りの心得、野外活動の注意点、虫や野生動物の対処法、グループの関係づくり、体力づくり…とたくさんの準備をしてきました。少し不安を感じている生徒もいましたが、リーダーとの顔合わせで絆を深め、当日を楽

しみに迎えたようです。高校生リーダーは中2が気持ち良く安全に活動ができるよう、ミーティングを重ね、夏休みのプレキャンプを経て万全の準備で本番を迎えました。

キャンプ1日目の昼食時には「宝探し」のグループ活動があり、見つけたカードのお題に答えて準備運動。その後の田代口からの約1時間半の歩行も高校生リーダーと一緒に元気に乗り切り、キャンプ場到着後には宝探しの景品抽選会で盛り上がりました。しかし、そろそろ次の活動に移ろう…としたところで大雨に見舞われ、土砂降りの中での飯盒炊爨開始となりました。あまりの豪雨に警報も出ていましたが、みんな「これもチャレンジ!」と笑い飛ばし、今すべきことに集中して作業を進めました。中2の生徒たちが一言も弱音を吐かず、またリーダーも炊飯場全体を見ながら細やかに気を配り、全員が声を掛け合って一生懸命に取り組む姿が大変印象的でした。



2日目ははいよいよ登山です。壁のように立ちのぼるゲレンデを頂上まで上り、約1時間半をかけてスキー場を散策しました。思っていたよりも険しい道のりに挫折そうになりながらも、仲間と声を掛け合って元気を分け合い、全員でゴールをすることができました。



解散式では共に過ごした仲間、そして高校生リーダーとチャレキャン全体を振り返りました。自分の壁を乗り越えた達成感と感謝の気持ちで心がいっぱいになり、中2もリーダーもみんな晴れやかな顔をしていました。このキャンプ全体の活動を陰で支えてくれたのは高校生リーダーです。リーダーの献身的な

サポート無くして、中2の生徒たちの成長はありえませんでした。高校生リーダーのみなさん、本当にありがとうございました。また、さまざまな不安を抱えながらもこの学校行事に送り出してくださった保護者の皆様に、厚く御礼申し上げます。

(チャレンジキャンプ委員会)

中1 バイブルデイキャンプ・遠足

○ バイブルデイキャンプ

行事週間の中1は、10月3日(木)の4限から6限にかけてバイブル・デイ・キャンプを行いました。日頃から、聖書の授業や毎日の礼拝で聖書をとおして自分を見つめ、様々なことについて思索する機会をもっていますが、意外と聖書をまとめて学ぶ機会が少ないものです。バイブル・デイ・キャンプでは、ルカによる福音書を忠実に映画化したと言われる『ジーザス』を鑑賞し、イエス様の生涯について学びました。その後ゴスペル礼拝を献げました。約50名の生徒が演奏や歌、踊り、スタッフとして「賛美せよ」「恵み」というゴスペル曲を準備してくれ、中1の生徒や教員のみんなが讃美する礼拝となりました。自分を見つめて思索に向かう日頃の礼拝と異なり、喜びと感謝をともにしながら讃美するという豊かで貴重な礼拝のときが与えられました。準備してくれた生徒の皆さんに感謝します。



○安佐動物公園遠足

10月4日(金)は安佐動物園への遠足を行いました。雨が心配でしたが、日差しが柔らかでおだやかな一日となりました。生徒たちは、保育園や幼稚園で、小学校低学年で何度も動物園に行ったことがあります。中学生になって行くのは新鮮だったのではないのでしょうか。午前中は、季語の代わりに動物をテーマとした動物俳句を考えながら散策を楽しみました。フタコブラクダやツキノワグマは9月中厳しかった残暑のためかお疲れ気味で、アカゲザルの群れは女学院生の集団に囲まれて大興奮でした。昼はグループで昼食をとり、昼食後はHR委員さんが準備してくれたアクティビティを楽しみました。学校に帰るとすぐにそれぞれの俳句を短冊に書き留めました。2学期が始まって忙しい毎日が過ぎていましたが、のんびりした時を過ごすことができたのではないのでしょうか。

(中1学年会)

中2遠足

中2は三次市の平田観光農園へ行き、果物狩りを行いました。事前に配布された21枚つづりのチケット「ちょうど狩り」を利用しました。農園に到着し、バスでチケットの使い方の説明を受け、「今日はシャインマスカットがひと房12枚のところ、8枚です！」と農園の方がおっしゃると大歓声があがりました。バス降車後は多くの生徒がシャインマスカットエリアにいそいそと出かけました。季節の果物の梨、リンゴも大人気でしたし、普



段あまり口にする事のないプルーンにも興味津々の様子でした。そして、グループごとにチケットを上手に使い、様々な果物をお土産に持ち帰りました。



連日の雨模様もこの日は雲間から秋の穏やかな陽射しを時々あびることもできました。お昼は思い思いの場所でおいしそうに楽しくおしゃべりしながら食べ、山間部のきれいな緑と空気のなかで過ごす時間はあっという間に過ぎ、癒しのひと時となりました。

(中2学年会)

中3長崎研修旅行

10月2日から10月4日まで長崎研修旅行に行きました。天気予報ではほとんどの行程で雨予想でした。しかし、雨が降ったのは初日の一部だけで、天気は良くないとあきらめていた研修旅行も楽しく充実したものとなりました。



平和学習では、語り部さんのお話を聞いたり、平和公園、長崎市内の原爆に関する遺構を訪ねたりと、良い経験をすることができました。

また、長崎文化に触れる時間では、出島、グラバー住宅、大浦天主堂など、様々な場所を訪れたり、オランダ坂ではお土産を買いました。

最終日は待ちに待ったハウステンボスでした。暑くもなく寒くもないちょうど良い天気です。いろいろなアトラクションに乗ったり、食事をしたりと、楽しい時間を過ごしました。

この3日間を友人と過ごすことで、3年間を締めくくる有意義な時間を過ごすことができ

たと思います。

(中3学年会)

高1遠足

高1は学年全体で宮島に遠足に行きました。宮島口に現地集合としました。生徒はそれぞれ宮島口までの交通機関を調べ、集合時間に間に合うような便を選定し、ほぼ問題なく集まることができました。宮島では天候に恵まれるだけでなく、ちょうど満潮の時間をむかえ、青い海に浮かび上がる厳島神社の大鳥居と社殿の優美な姿を見ることができました。



(高1学年会)

高2沖縄修学旅行

私達高校2年生は、10月1日から3泊4日で沖縄に修学旅行へ行ってきました。台風接近が心配される中、2日間に及ぶ平和学習に取り組み、沖縄の文化体験も行うことができました。毎日、盛り沢山の内容でしたが、旅行委員を中心とし、みんなが率先した行動を心がけていたことで、より充実した4日間になりました。

平和学習では、現地でガイドをしておられる比嘉涼子さんから、沖縄でどのような悲劇があったのかということについてお話をうかがい、その熱意に圧倒されました。

私達が、経験したことのない世界を忘れないということはとても難しいことですが、私達が主体的に戦争の実像を見続けること、

そして、その見方を後世に私達の世代が伝えることこそ、平和について向き合うということだと思いました。平和ある毎日の有り難さに改めて気づくことができました。

女学院最後の合宿行事ではありましたが、それぞれが沖縄での文化に触れ、生徒同士だけでなく先生ともより仲が深まった、とても思い出に残る4日間でした。



(高2旅行委員長)

高3遠足

秋の遠足は全クラスで福山のアミューズメントパーク、みろくの里に行きました。

遠足の数日前からHR日誌には心待ちにするコメントがあふれ、雨予報をくつがえそうと、教室や廊下にはテルテル坊主も見られました。その願いが通じて、薄曇りの過ごしやすい陽射しの中で遊園地を満喫することができました。絶叫することで受験のストレスも発散できたことでしょう。満面の笑みの生徒たちを見れて私たち教員も元気をもらえた一日でした。



(高3学年会)

夏休み中の行事について

夏休み中の行事の諸報告は、本校ホームページ「今日の女学院」に掲載しています。ぜひご覧ください。

<https://www.hjs.ed.jp/todays-jogakuin>

保健室だより（3）

木々が色づき、秋を感じるようになってきました。秋は比較的過ごしやすい季節であるものの、体調を崩しやすい時期です。例年この時期は、保健室も頭痛、腹痛、気分不良などを訴える来室者が多くなっています。体調を崩す主な原因は、寒暖差による自律神経の乱れです。通常、昼間や活動時には「交感神経」が働き、夜間やリラックスしている時は「副交感神経」が働き、体温調節や発汗、呼吸、心拍、血圧、消化などが上手くコントロールされています。しかし、季節の変わり目の秋は、朝晩と昼間との寒暖差が大きく、一日の気温の変化も激しくなります。このような環境では、体温や発汗などを目まぐるしく調整しなければならず、2つの神経のバランスが崩れてしまいます。その結果、頭痛、不眠、倦怠感といった症状が現れます。そこで秋を健康的に過ごすには、自律神経のバランスを保つ工夫が大切です。



- ①朝日を浴びる。（起きたら太陽の光を浴びて深呼吸しましょう。）
- ②睡眠をしっかりとる。（6時間以上の睡眠が理想です。）
- ③栄養バランスに気を付け、一日3食食べる。（朝食は必ず摂りましょう。）
- ④入浴はゆっくりお湯につかる。（38～40℃のぬるめのお湯につかりましょう。）
- ⑤寝る前はスマホ、PCの強い光を浴びない。（寝る1時間前には画面を見ません。）

など、身体を気遣った生活を心掛けていきましょう。自律神経を整えることで免疫力も上がり、感染症などの病気から身体を守るとも言われています。また寒い冬が来る前に、冷えに弱い人は、今のうちから身体を温めたり、血行をよくする対策を講じておきましょう。

（保健室）

心の健康（3）

秋は大きい学校行事があります。行事に参加すると、どうしても他の人に気を使い、人間関係のことで頭がいっぱいになります。人との交流は楽しいし喜びを感じ、やる気が出てきます。また、身体を動かし行動することが多いので、充実感や満足感を得ます。ただそれだけではなく、とても疲れます。心も身体も疲れます。

活動の後には休息を！外の世界に心を向け行動した後は、静かに自分の内面に向かい合う。この活動と休息の「バランス」に配慮したい11月です。

中・高生は家庭でいろんな姿で疲れを示し回復しようとしみます。寝てばかり、ダラダラしたり、イライラしたり、やたら食べたり、喋りまくったり、不規則な生活をしたり、と。大人は慌てないで、「バランス」の視点を持つことで状況を理解していきましょう。

（カウンセラー）

生徒の活躍

◇中高マンドリン部

- 令和6年度全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール
優秀賞ならびに全国知事会賞（第3位）

◇中学合唱部

- ・第91回NHK全国学校音楽コンクール広島県コンクール（8月9日）
金賞 中国ブロックコンクールへ進出
- ・第63回広島県合唱コンクール（8月11日）
金賞 中国合唱コンクールへ進出

◇高校音楽部

- ・第91回NHK全国学校音楽コンクール広島県コンクール（8月9日） 銅賞
- ・第63回広島県合唱コンクール（8月11日） 銅賞

◇中高吹奏楽部

- ・第65回広島県吹奏楽コンクール
高校小編成部門 金賞 中国大会進出
中学校A部門 銀賞
- ・第65回全日本吹奏楽コンクール中国大会
小編成 高等学校の部 銅賞

◇第78回広島天満書道祭

- 特選賞 3-1 T. R
- 金賞 3-3 A. H

◇SDGs QUEST みらい甲子園 全国大会 Future Session 入賞

アクションプラン

『コスメの児童労働をなくすために マイカの認証マークを作ろう』

チーム名「AYAME」 3-B H. A 3-B O. M

◇1-2 I. R

第48回ピティナ・ピアノコンペティション全国大会 D級 ベスト26賞

◇3-D S. H

- ・第39回広島県高等学校独唱コンクール（8月24日）
最優秀賞 第78回瀧廉太郎記念 全日本高等学校声楽コンクールに出場
- ・第78回瀧廉太郎記念 全日本高等学校声楽コンクール（10月20日）
優良賞



今月の聖句

「しかし、人が義とされるのは、律法の行いによるのではなく、ただイエス・キリストの真実によるのだということを知って、私たちもキリスト・イエスを信じました。」

聖書協会共同訳 ガラテヤの信徒への手紙 2章 16節 a

10月31日といえば、ハロウィンだ！と思われる方が多いかもしれませんが、ですが、プロテスタント教会の始まりとなる「宗教改革記念日」でもあります。宗教改革とは、ローマ・カトリック教会が発行した贖宥状（買うと罪が贖われるお札）に対する批判を発端に、16世紀に起こった宗教的運動のことです。この宗教改革の中樞を担ったマルティン・ルターは、カトリックの修道士で、日々敬虔な信仰者になるために努力を重ねていました。ですが、ルターは努力すればするほど、自らの至らなさに気づかされ、救いの実感が得られないことに悩んでいました。その苦悩を上司に打ち明けたところ、ルターはヴィッテンベルク大学で聖書の講義を担当するよう、命じられました。ルターは講義準備のために聖書と向き合う中で、救いというのは人間の行いによって得られるのではなく、神の一方的な恵みによるものだと気づかされました。こうして彼は、贖宥状に対しての批判を展開していくのでした。

今月の聖句となっている箇所は、宗教改革に影響を与えた箇所です。私たちは行いによって、神様から義（正しい）と認められるものではありません。イエスさまの方から示してくださる真実によって、私たちは義とされるのです。キリスト教主義学校である広島女学院に連なる私たちも、イエスさまによって示された真実の招きに応じて日々を歩む者でありたいと思います。

（聖書科U. R）